

第37回 夕張川流域会議

- 日時：令和1年7月26日（金） 13：30～15：30
- 場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室

37回目の夕張川流域会議では、事務局から魚道整備後のサケ・マス産卵床調査の報告と河畔林伐採における保全木選定についてお知らせがありました。またハサンベツ里山計画実行委員会、NPO法人ふらっと南幌、NPO法人雨煙別学校から活動報告と今後の予定が紹介されました。



主な意見

- 住民がサケ、マス、エソウグイの産卵を見て、川としっかりつきあうようになればいい。
- 生き物豊かな川になれば、治水にも興味を持つようになると思う。
- 夕張川流域は、川を利用しながら町をつくってきた。地域は水の恵みで育ってきたと言ってもいい。
- 川に恩返しをしながら、どんな川をつくれれば心が和み、川とつきあえるかを考えることが重要だ。
- 川を整備して物質的な豊かさは得られたが、地域住民から心の豊かさが消えた。
- 整備計画を策定する際に話し合ったことが実現してきている。
- 行政と市民とが一緒になって良い川をつくって頂きたい。
- これからの川づくりは、いろいろな生き物が利用できる川にして、人の心を豊かにすることだ。



※詳細は、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索

夏休み環境学校～水辺の自然塾

- 日時：令和1年8月6日（火） 9：00～15：30
- 場所：石狩川（新石狩川大橋上流右岸）
- 協力：流域生態研究所

今年の江別市環境課主催の水辺の自然塾は、早苗別川から石狩川に場所を移して行われました。とても暑い日で水温は24.5℃もありました。午前中は、川の清掃、生き物採り、川流れをしました。子供たちは、ウグイの稚魚やヌマチチブなどハゼの仲間をたくさん採りました。投網にかかった体長40cm以上のコイが一番人気でした。お昼を食べて午後からは、プラスチックゴミが生き物に与える影響について講話を聞き、水槽で魚の観察をしながら生き物の図鑑づくりをしました。普段は川に行くこともない子供たちにとって、夏休みのいい思い出づくりができたようです。



川の掃除



生きもの採り



川流れ



水槽で魚観察

採取した生き物：ウグイ類、コイ、金魚（フナ類）、ギンブナ、ジュズカケハゼ、ヌマチチブ、ウキゴリ、スジエビ



川へ行くときは、パソコン、スマートフォンから情報をゲット！！
河川・ダムリアルタイム情報 <http://info-dam.hdb.hkd.mlit.go.jp/river/>



バードウォッチング講座

- 日時：令和1年5月11日（土）15：30～ 5月12日（日）5：30～
- 場所：雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス、ハサンベツ川

この講座は、バードウォッチングを楽しむ上で始めにぶつかるハードル、鳴き声や識別のポイント、季節と場所で見ることが出来る種類の変化などをわかりやすく解説するもので、講師はおっ鳥クラブの諸橋氏です。1日目は、写真を見たり、鳴き声（録音）を聴いたりしながらテスト形式で識別ポイントを学習しました。2日目は、早朝のハサンベツ川でバードウォッチングを楽しみました。オオルリ、イカル、キビタキ等26種を確認しました。みなさんもバードウォッチング、はじめてみませんか？



川の指導者養成講座

- 日時：令和1年6月22日（土）、23日（日） 9：30～17：00
- 場所：雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス、夕張川

恒例の川の指導者養成講座が開催されました。この講座は、川活動、環境教育に興味のある方を対象に川の成り立ちとその機能、川の生き物と環境の関わりを学ぶことを主目的に、ボートを使った川活動の進め方や安全管理についても学ぶことができる講座です。講座には、NPOの職員や教育委員会の川の学習活動担当者等が参加しました。



(上) 川での実習の様子
(右) 座学の様子



講座で学んだ事柄

- 川の楽しさ、恐ろしさを理解する
- 自然河川と改修河川の違いを理解する
- 自分の力量を知り、できることをする
- 教えるのではなく行動させる
- 生き物が多い川は人も使いやすい
- 川は刻一刻と変化する
- 現場での実体験が大切

夕張川の生き物たち 今回はカエルをご紹介します



アマガエル:日本、朝鮮半島、中国東部まで広く分布。オスは体長22～39mm、メスは26～45mm。背面は黄緑色だが環境により体色は変わる。繁殖期は4月末～8月。池沼、湿地、田んぼ、水たまりなどで250～800の卵を産む。幼生は7月～9月頃には変態する。肉食でクモや昆虫、土壌動物を捕食する。幼生は雑食性で腐食した落ち葉や遊泳物、溺死した生物や他の生物の卵なども食べる。皮膚粘膜から刺激のある毒を分泌する。

参考文献:「北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑」2011 北海道新聞社

エゾアカガエル:北海道、サハリン、国後島、択捉島などに分布。オスは体長46～55mm、メスは54～72mm。背面は暗褐色や褐色で、黒斑やにぶい隆起を持つものもいる。繁殖期は4月～5月で標高の高いところは7月に及ぶ。池沼や水たまりなどで700～1100個の卵を生む。幼生は約2か月で変態する。成体は小さなクモや昆虫、土壌動物を捕食する。幼生は雑食性で腐食質や溺死した生物なども食べる。

参考文献:「北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑」2011 北海道新聞社

アマガエル



エゾアカガエル



発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町 573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索